

貝の赤ちゃん

私の家にお人形作りに来てくれる酒井さんは3人のお子さんのおかあさん。お子さんのうちのひとりに何かを作ってあげると決まって他の子も欲しくなるので、お子さんのために次々とお人形作りに精出してくれています。ある日、「4歳のお誕生日にあげたいので、今日1日で仕上げます！」と3番目のお子さんのために、貝の赤ちゃんを作りました。お子さんはとても気に入って、パールちゃんと言います。どこに行くにも連れ歩いているそうです。子どもは、手のひらにおさまるような小さなお人形も大好きですね。



貝殻の中から、小さな赤ちゃんがそっと顔をのぞかせます。海に遊びに行ったときに拾った貝殻で作ったら、思い出もいっしょにとっておけますね。けれども、形の整った貝殻を見つけるのはなかなかむずかしいかもしれません。そんな時は、どうぞキットをお役立てください。スウェーデンひつじの詩舎のキットには、真珠のような光沢の美しい巻貝が入っています。

2時間ほどあれば出来上がりますので、間近に迫ってからのプレゼント準備にも十分に合います。作り方のコツは、本のとおり思い切って羊毛をカットすること。赤ちゃんの出来上がりが大きくなってしまったり、いないないばあがしくなってしまうと、

キットはまゆの赤ちゃんと言います。1体ずつのセットです。

(まゆの赤ちゃんと言います。1体ずつのセットです。)
(まゆの赤ちゃんと言います。1体ずつのセットです。)

「ウォルドルフ人形作品展」 ～心を育む人形たち～

8月18日(月)～23日(土) 星の子 大田区石川町1-26-8 T&F: 03-3727-8505

★ 19日(火)には、「はじめてのガーゼ人形作り」ワークショップが開催されます。

担当: 浜田幸子

9月18日(水)～21日(日) 福岡市女性センターアミカスギャラリー

西鉄大牟田線高宮駅横 問い合わせ TEL: 092-512-6095 (つみきや)

★ ベレの学校第4期卒業展を同時に開催いたします。

担当: 及川雅子・阪根彰子・横山由紀子・原田保子

スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

★ 8月10日(日)から16日(日)まで夏休みをいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

★ 指人形「虹の子」のキットは、2体分2,000円のところ、12月末まで特別に3体分2,000円でお届けします。どうぞこの機会にお求めください。

★ 11月5日(水)から11日(火)まで、横浜高島屋にて開催されます。佐々木奈々子の作品展を、どうぞお楽しみに！



ぱたぼん通信

「夏至祭の子どもたち」に寄せて



夏至はスウェーデンにあっては白夜の季節である。太陽は夜になっても地平線近くに留まり続け、すぐまた昇る。一年で最も昼の長くなる夏至の週末に祝われる夏至祭(ミッドサマー・フェスティバル)は、スウェーデンの人々にとって一年で最も大切な行事である。学校はこの週末を前に夏休みに入り、多くの会社やお店も休みになる。

さて、土曜日の朝、町の広場では祭りの準備に余念がない。男たちが白樺の枝を山積にしたトラックでやって来て、十字に組んだ柱をその白樺の葉で満遍なく覆って



いく。一方で、子供たちは野の花を摘んで集め、それを女たちが花輪に編みこんでいく。男たちの造った十字の柱の両端に女たちの編んだ二つの花輪が飾られると、メイポール(マイストング)の完成だ。その間に広場の周りには観覧席が設けられ、お茶や軽食も用意される。祭りの開始時間が近づくとつれ人々が集まり始め、広場は家族連れで活気を増していく。女の子たちは皆、頭に花冠を載せている。その姿はまるで妖精のように可憐で美しい。正午過ぎ、ヴァイオリンとアコーディオンの演奏を合図にメイポールが広場に担ぎ込まれると、子どもたちの瞳は輝



きを増してくる。そしてポールが広場の中央に立てられると辺りは拍手に包まれた。ヴァイオリンが奏でられ、大人も子どももポールの周りに輪になって手を繋ぎ、歌いながら踊る。ひとしきりすると民族衣装で着飾った男女が現れ、フォークダンスが披露される。賑やかで楽しい歓喜のひと時が過ぎていった。夜になっても沈まぬ太陽の下、人々は「スコール！」と言って祝杯を挙げ、伝統的な食事を楽しむ。

ディルという香草と共に茹でた新じゃがにサーモンやニシンの酢漬け...、それらにサワークリームが添えられる。そして、デザートには沢山の苺とホイップクリーム!

またこの日、女の子は野で摘んだ花を枕の下に置いて眠ると将来の夫に夢で逢えると言い伝えられている。ただし、この花は無言のうちに摘まなければならないそうだ。

今野直美(横浜市中区在住)



「第5回 おにんぎょう(ウォルドルフ人形) だいすき展」

9月19日(木)～21日(日) 集西楽サカタ二 京都市東山区 TEL: 075-561-7974

担当: 早川加代子

編集担当: 佐藤治子
スウェーデンひつじの詩舎の
ホームページ

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥
スペース ベレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘15-2
TEL/FAX 045-881-6000/6035
佐々木のアドリエ TEL/FAX 045-811-6708
相模原口火金 担当: 寺田裕子045-881-7035